

2021度 研究推進計画 五條市立北宇智小学校

1 研究主題

論理的に内容を理解し、考える子どもの育成
～読解力向上のための論理力と語彙力の研究～

2 主題設定の理由

本校は、2018年度より「論理国語」と「読書活動」の2つの取組による『読解力』向上を目指してきた。その結果、昨年度の標準学力調査では「読むこと」の基礎問題において、全国正答率と同率か、それを上回ることができた。これは児童に文章を論理的に読むスキルが身につくにつれ、正確な読みができるようになったことを表している。つまり、『読解力』の基礎が身に付いてきたと言えるだろう。

さらに昨年度からは、正確な読みのために必要な「語彙力」を新たに研究テーマに加えた。各学年で様々な取組が行われたが、語彙をインプットする活動が多く、アウトプットの必要性を感じた。同調査でも、言葉の活用に関する設問の正答率は低く、語彙の質についての課題が残る結果となった。

そこで今年度は、PISA型読解力における4つの能力領域に沿って、本校の『読解力』の更なる向上を目指すこととした。

児童は、文章を論理的に読むスキルを身に付けたことで、「問い」に対する「答え」をテキストから取り出すことができるようになってきた。しかし、文章の内容を正確に理解した上で、テキストを根拠に推論し、自分の解釈を持つまでには至っていない。よって、情報を抽出する力の定着とともに、文章を読んで感じたことや考えたことを論理的に提示できる「論理力」が必要であると考えられる。

また、正確な読みには「語彙力」は欠かせない力である。豊かな語彙知識と精度の高い語彙使用を育む取組「Project Vo'x」の研究を今年度も継続し発展させることで、より深い『読解力』に繋がると考える。

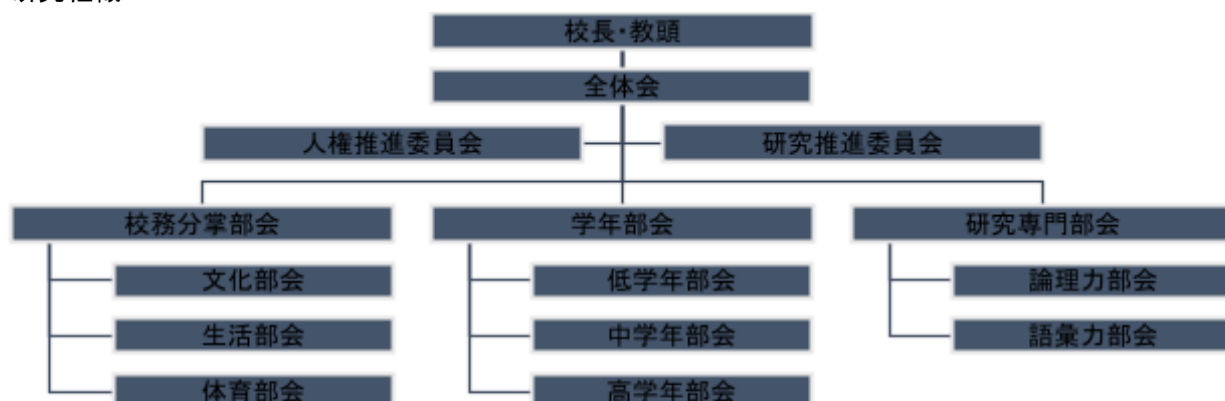
これらの内容を踏まえ、本校の課題解決における2つの仮説を立てた。

仮説1:「論理力」が育まれれば、文章の内容を理解した上で、テキストを根拠に推論し、自分の解釈をもつことができ、『読解力』の向上を図ることができる。

仮説2:「語彙力」が育まれれば、文脈に合わせて適切な語を選択することができ、『読解力』の向上を図ることができる。

『読解力』の基礎が身に付きつつある現状を維持し、更なる向上を目指すためには、自分の考えを論理的に導き出すための「論理力」と文章をより正確に読むための「語彙力」が必要不可欠であると考えられる。今年度は、この2つの力に焦点を絞り、『読解力』向上に向けた研究を進めることとする。

3 研究組織



論理力部会	◎拾尾
語彙力部会	◎谷口

4 研修計画

4月	研修体制の確立 研修計画作成・提案	10月	2学期 読書週間
5月	研修二部会経営案作成	11月	4・5年 公開授業(19日)
6月	2・6年 公開授業(16日) 1学期 読書週間	12月	冬休み学習の手引き・作成
7月	夏休み学習の手引き・作成	1月	1・3年 公開授業(29日) 3学期 読書週間
8月	職員研修	2月	研修二部会総括

9月	各学年部会・専門部会による研修	3月	総括・来年度に向けて
----	-----------------	----	------------

※ 研究専門部会および学年部会は適宜開催